

(外字)

シルバー ところざわ



◆発行 社団 法人 所沢市シルバー人材センター 1994 No.49 11月号

“交通事故から身を守る”

会員安全研修開催!!



図示講話される渡辺警部補

記録的な暑さに悩まれた今夏。連日の酷暑が漸く途切れ、僅かに秋の気配が漂い始めた9月14日(金)、旧市役所4階会議室に於いて、所沢警察署交通課交通第一係長の渡辺義通警部補を講師にお迎えして、「交通事故から身を守る」をテーマに会員安全研修が開催されました。

当日は朝から待望久しかった雨、然し、主催者にとっては皮肉の雨。出足を殺がれて集まりが悪い

いのではないかと心配したがそんな危惧は無用でした。熱心な会員の皆さんが時間間際には続々と詰めかけ、会場はやがて満員の盛況。

大野専務の司会で開会、先ず、高橋理事長の「日頃の就業に当たって、就業の安全を確保すること、交通戦争とも言われる程、益々交通事情が悪化し、死傷事故が多発する中、その事故から身を守ることは、会員皆さんの生活を守る両輪、本日の研修を有意義なものにされたい」との簡明な挨拶に引き続き、本題の講話に入る。

講師の渡辺警部補は、所沢警察に着任以前は埼玉県警本部の白バイ隊に属するなど、全県下に亘って広く交通指導に当たられたベテラン。豊かな経験と、軽妙な話術で1時間半に及ぶ講話がアッと言う間に過ぎ去った感じの有意義な研修で、参加された会員の方々も真剣に聞き入って居られました。

講師の方が特に強調された点は、最近高齢者の事故が多発していること。車の運転に当たって、又、道路の横断等歩行時にも、加齢に伴う、運動神



熱心に講話を聴き入る会員の皆さん

経、反応、反射神経、視聴覚神経等、諸神経のどうしても避けることのできない低下を自覚され、無理を避け自からの安全を守って欲しいとのことでした。そしてその他、車の運転に当たっては、ただ制限速度を守るなど違反が無ければ良いだけでなく、違反しない上に、前後左右等周囲の状況に十分注意し、危険の状況が発生した場合はそれに対応し、事故を未然に防止できる安全運転に徹してもらいたい。その他自己破産、家庭破壊にも及びかねない飲酒運転の絶対禁止、加被害に拘らず事故発生の場合、命を守るシートベルトの絶対着用、更に運転時にも歩行時にも横断道路に於いては、一旦停止するなど左右の安全確認を確実にして絶対無事故を期して下さいと強調されました。

以上、当日出席できなかった会員の方も、講話の要旨を理解され、就業に当たって、又日常生活において交通事故から身を守り、明るい生活を確保して頂きたいと思います。

婦人部会員の集い活動状況

=婦人部だより=

センター婦人部では、別表のとおり地区別懇談方式による“婦人会員の集い”を開催、日頃の活動・就業状況と、これに伴う意見・要望・対策並びに新規業務の開拓提案など、幅広い意見と情報の交換が行なわれました。“集い”には山本婦人部長、村上・穂苅副部長が多忙の中、全地区に交互に列席、意見の集約・調整に当たられ、課題と反省その他について、“集いのまとめ”的報告が事務局に寄せられました。まとめの主たるものは、次の各項目ですが事務局に於いては、それぞれの事項について検討の上、遂次具現又は、業務に反映させて行きたいとしております。

=集いのまとめ=

(1) 就業業務の開拓について

- ・リフォーム事業を始めてはどうか。
- ・会社の食堂の賄いの仕事がしたい。
- ・家事援助の仕事をやりたい。

(2) 反省について

- ・シルバー人材センターの理念がよく理解されていない会員があった。
- ・“集い”への出席が悪かった。方法にも問題があったが、積極的な参加が欲しい。

(3) その他

- ・モップの絞り器が欲しい。（各公民館）
- ・就業の契約内容を契約者と就業会員双方が居るところで確認の上、就業するようにして欲しい。
- ・会員と事務局の人達との信頼関係の強化に努めてもらいたい。
- ・配分金振込みの件、早く結論を。
- ・事務局の方々に日頃色々と、お世話と心配りを頂き、感謝しているという意見が多数あった。

地 区 名	開催年月日	参加者数 (人)
① 富 岡 地 区	6. 6. 29	6
② 所 沢 地 区	6. 7. 21	10
③ 吾 妻 地 区	6. 8. 25	4
④ 松 井 ・ 柳 瀬 地 区	6. 8. 27	17
⑤ 小 手 指 地 区	6. 9. 2	6
⑥ 新 所 沢 ・ 新 所 沢 東 地 区	6. 9. 4	10
⑦ 三 ケ 島 地 区	6. 9. 10	15
⑧ 山 口 地 区	6. 9. 21	8
⑨ 中 央 地 区	6. 9. 27	14

参加人員： 90人

出席率： 34.2%

埼玉県警主催の高齢者ドライバー 運転適性診断に会員参加!!

平成6年度秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）を間近に控えた9月16日、埼玉県警察本部交通部が主催する、高齢者ドライバー運転適性検査に当センターから、伊藤副理事長を始め9名の会員が急拵参加し受診しました。

当日は、所沢警察署チャーターの観光バスで11時10分センター前発の予定が30分程遅れて到着、会員以外の参加者12名と合わせ21名で発車となる。川越一川島町一吉見町を経て1時間余、12時10分頃会場の鴻巣市内埼玉県運転免許センターに到着、直ちに昼食をすませ13時より適性診断に入る。寄居警察署管内から参加された20数名の方々と合同の受診。先ず、埼玉県警教育課所属の辻井専門官の講話、偶々、警察庁本庁から若手係官10数名が見学に来られ一諸に聴講。

警察庁本庁の新進係官が聴講に派遣されるくらいだから辻井専門官の講話は、話術、内容共に卓抜まさに立派に水。前段で交通事故の実態、事例、防止対策とユーモアを交え簡明な講話、そして後段本題の運転適性診断の方法、内容について説明があり診断に入る。

診断は、それぞれシュミレーションを用いて、下記4種類の診断がなされた。

- A. 単純反応検査（内容）反射的な動作、反応の速さについて検査
- B. 選択反応検査（内容）状況の変化に対応する動作、反応の速さ、正確さなどの検査
- C. 速度反応検査（内容）速度に対する適正な判断、その他あせり傾向などについて検査
- D. 処置判断検査（内容）運転中の注意力の持続、注意の配分などについて検査

以上、4種類の検診はすべて個々人のカードが作成され、検診結果はコンピューター処理され、直ちに各項目毎の判定と4種目合計の総合判定が5段階に区分判明する。

しかし、この検診は判定評価の上下を目的として行なうものではなく、受診者各自が自身の特性、適性を把握し、運転に当たってどの点を注意して運転すれば良いかを判定してくれる、受診者にとって極めて参考になる有意義な検査でした。今回参加された皆さん、来年も是非又参加したいとのことでした。今回は所沢警察から突然の要請のため僅かな人に限られましたが、次回は是非多くの会員の方に参加して頂きたいと思います。

最後になりますが、講師の辻井専門官から「車の運転はどんなに注意しても、大きな危険を伴うもの。運転免許に何時までも拘わらず、自からの生命と財産を守るために、或年齢で運転免許返納の決断をして下さい」との要請がありました。冷静に受け止めたい問題だと思います。

=市民フェスティバルに参加、成果挙げる=

恒例の市民フェスティバルが、本年も10月29日（土）～30日（日）の両日、所沢航空記念公園を会場に開催された。初日は小雨、2日目も曇天と天候に恵まれて、とは行かなかつたが、「雨にも負けず」で2日間を通じ30万人の人出という大賑わい。当センターも例年通り、コーヒー、ポップコーン、ヨーヨーの販売と、センターPRチラシの配布に理事長始め役員、事務局職員が声張り上げて奮闘、全品完売の成果を上げることができました。ご苦労様でした。



センターPRと、軽飲食の販売に奮闘する女性会員と事務局の皆さん

=会員親睦旅行に参加して=

蓮見菊江（山口地区）

折から台風26号の影響でお天気が心配された今回の旅でしたが、所沢を出発しておよそ3時間、関越トンネルを抜け出ると、そこ日本海側は暑い位の上天気。昼食は堀の内の築場で美味しい鮎の塩焼きに舌鼓。昼食後見学した“豪農の館”北方文化博物館は、その昔お米で財をなした伊藤家のお屋敷で、当時の繁栄ぶりが随所に伺がわれ、ミイラの涙壺とか、矢立てのコレクション、その他数知れない程の貴重な陳列品に目をみはらせました。又建物、建具すべてが三角形の“三楽亭”的雅にはしばし魅了されました。宿泊先のホテル清風苑は落ち着いた京風の宿。言われる美人の湯に3回も浸り、すっかりきれいに磨かれ、心地よい眠りに落ち、夜を閉じました。明けて2日目30日、昨年9月にオープンした新潟の新しい名所となるであろう“新潟ロシア村”を見学いたしました。民族衣装での軽妙なショーや、人形の絵付けなど楽しく見せて頂き、思わぬ場所で異国情緒に触れることができました。帰路、新鮮な日本海の海の幸で有名な寺泊の魚市場に立寄り美味しい昼食を頂き、おみやげを沢山に買い込み一路所沢へ帰って参りました。

日頃疎遠の会員の皆さんと交流でき、意義深い1泊2日の旅でした。又、明日から1日1日を大事にし、生甲斐を求め、明るく生きて行こうと思って居ります。

この度は、職員の大野専務さん、山川次長さん、田中さん、そして添乗の方などに大変お世話になりました。思い出に残る楽しい旅を有難うございました。

“ところざわ”に寄せて

五社重雄（新所沢地区）

いささか旧聞になり恐縮ですが……。

6月某日午後、“リーン”。自宅の電話を取り上げると、いきなり受話器の向こうから思いもかけず意外な方から（失礼）、「シルバーセンターの大野ですが、五社さん、広報部の手伝いをしてくれませんか」云々、張りのあるお馴染みの声が飛び込んできました。

大野専務日頃のお人柄と巧まざる誘い上手に、常日頃何かにつけて慎重居士の私も、思わず「ハイ承知しました」と答えて仕舞いました。かすかな軽率さを悔い乍ら、フト気がついたら今まで「シルバーところざわ」にじっくり目を通したという記憶がありませんでした。

東京下町からここ所沢に居を移して約30年!! 私は自分の住んでいる所沢について、肝心なことは何一つ知っていないことに更めて驚きと迂闊を感じた次第です。安松・上新井・三ヶ島・山口等々町名地名を聞いても方角すらよく理解できずにおりました。俗にいう、仕事盛り・働き盛りの40歳、50歳台、そして分別盛りの60歳台とサラリーマンの常として、又多忙な新聞社勤務として、新所沢と竹橋本社の往復にあわただしく過ごした歳月でした。

今年72歳、仕事からも解放され、好きな釣り三昧の余暇もできた今日この頃、シルバーセンターからのお誘いにより、ささやかなお手伝いの機会を与えて頂いたのも、この機会に所沢をよく知るべく天の啓示と心の弾む思いでおります。

素晴らしい武蔵野の面影を今なお大切に育くんでいる第2のふるさと“所沢”その歴史と風土誌など、将来探求しながら「シルバーところざわ」と共に歩んで行きたいと思う昨今です。

新入会員の紹介

平成6年7月1日から同9月30日までの間に次の方々が新しく入会されました。どうぞよろしくお願ひいたします。

氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区
海老澤吉男	所沢	佐藤 良次	新所沢	楣江 珠子	山口
山田 太郎	松井	川島 キミ	松井	田辺 学	小手指
中山 行男	小手指	宗 徳一	三ヶ島	伊藤 慶雄	松井
今 千恵子	中央	今井 稔	柳瀬 鈴木	君子	山口
伊藤美津子	松井	田島 光子	三ヶ島	小泉 潔	所沢
丸山 学	三ヶ島	佐藤 富代	松井	狩野 廣也	山口
岩田 公弥	小手指	兼清 敏子	松井	斎藤 文子	新所沢
中島千代子	柳瀬 青柳	一男	柳瀬 細野紀代子	松井	
矢作 正美	三ヶ島	満尾ミツ子	所沢	北見 一雄	三ヶ島
田中 寿子	所沢	青木房江	新所沢東	佐々木恵美子	吾妻
長倉 静男	久米	吉田総太郎		吾妻	

平成9月30日現在

会員数	790名
男性	527名 (66.7%)
女性	263名 (33.3%)

和銅大橋渡れば古墳秋深し
秋となる矢切りの渡しまだ残る
地下道ゆくヂーパン娘秋となる
キンピラの歯ごたへ秋の深みゆく
落葉焚き煙の中より這ひ出る虫

短歌三首

酒臭き息吐きつもマイク持ち宴席の人唄巧みなる
名水をテレビに映し販売の世は変りたるわれ古稀すぎて
旅は好き舞台にのぼりマイク前吾れ大好きな物真似をする



平成6年度 会員研修親睦旅行報告

去る9月29日～30日実施の会員研修親睦旅行“月岡温泉1泊の旅”にご参加下さいました多数会員の皆さん、お疲れさまでした。折から心配された台風26号にも災いされることなく、むしろ好天に恵まれ、事故も落伍者もなく無事終える事ができました。ひとえに会員皆さんのご協力のお陰と厚くお礼申し上げます。

収支について右表のとおり報告いたします。内容検分の上ご了承下さい。

来年もまた計画いたします。是非多数会員皆さんのご参加をお待ちいたします。

収 入		支 出	
会費 (19,500 × 87)	1,696,500	有 料 道 路	74,500
職員分	大野 5,000	清風荘宿泊宴会費	1,040,640
	山川 5,000	やな場 昼食代	142,140
	田中 5,000	北方文化博物館	50,600
	両角 5,000	しおさい昼食代	140,595
山本綾子理事より	10,000	〃 ビール代	9,270
兼松きのえ副理事長より	10,000	新潟ロシア村	119,600
伊藤政一副理事長より	10,000	旅行傷害保険代	18,400
前回 繰 越	64,094	フィルム代	1,200
銀行預金利息	820	車内まかない	56,190
		乗務員心づけ	16,000
		写真現像代	4,390
合 計 (A)	1,811,414	合 計 (B)	1,673,525

※バス借上料(2台) 432,600円……センター負担

(A) 1,811,414 - (B) 1,673,525 = 137,889

残金 137,889円は次回へ繰越し致します。



おめでとうございました。

=高橋理事長、叙勲の栄に輝く//=

当センター、高橋理事長が平成6年度秋の叙勲（11月3日付）で、勲5等に叙せられ双光旭日章を受章されました。高橋理事長は、当センター役員に就任される以前は、故郷佐賀県に於いて5期20年の長きにわたって県議会議員として県政に参与、県政の発展と民生の安定に寄与され、その功績が今回顕彰されたものです。佐賀県の名誉は言うまでもありませんが、当センターにとりましても誠に喜ばしく、誇りに思う次第です。心よりお祝い申し上げます。

=辻森 茂さん厚生大臣表彰受彰//=

当センター会員の辻森 茂さんが、去る10月15日平成6年度ボランティア功労者として厚生大臣表彰を受彰されました。辻森さんは、ご存知のとおり洋傘の修理技術を通じて、広くボランティア運動に活躍され、過去種々の表彰を既に受けて居ますが、今回最高の栄を受けられたもので、心よりお喜び申し上げます。

=業務係田中さん、眞由美さんとご結婚=

当センター業務係の田中義明さんが、かねて婚約中の、才媛岡田眞由美さんと10月16日、川越プリンスホテル内結婚式場に於いて挙式、目出度く結婚されました。

心よりお祝い申し上げ、幾久しい幸福をお祈りいたします。

＝県外視察交流研修に参加して＝

河 村 三 朗（吾妻地区）

平成6年度の所沢市シルバー人材センターの県外視察交流研修が、10月18、19両日にわたり、（社）郡山市シルバー人材センターで行なわれ、役員、地区委員、職員35名が参加した。

郡山市は人口324,184人（平6.9.1現在）で所沢市の316,190人（平6.6.30現在）にほぼ匹敵し、福島県の経済中核都市として近年著しく人口も増加し発展を遂げている市です。

同センターの受注内容は民間企業が64%と多く、次いで公共関係19%、個人家庭16%となっております。また就業内容では、軽作業が全体の65%を占め、技能9%、事務整理8%と続いている。会員数は男641人、女352人、計993人（所沢：男525人、女260人、計785人）で、平成5年度事業契約金額は月平均25,190,804円（所沢：21,596,085円）、就業延人員77,103人（所沢：60,410人）となっている。

質疑応答の中で、郡山センターでは、(1)冬季降雪時の臨時求人では、こちらの予想に反し雪降ろし等の特別需要は見られない。(2)植木剪定作業は、植木職応募者の少ないのが業務開拓のネックとなっており、需要受注に2ヶ月位待って貰う状態。又就業上の人間関係の難しさと、技術上の格差の解消が問題となっている。(3)未就業会員の対策として就業職種の転換を推進しているが、就業者の希望と発注者の条件とが必ずしも容易に一致せず、また技術の習得には相当の時間と個々会員の努力が必要である、等の解説がありました。

所沢センターのおさらい教室の運用方法、会員就業率向上のための具体的な職場開拓の方法等については大いに参考にしたいとのことでした。また不況による配分金の未収入が増加の傾向にあることなど、共通する問題点も明らかになりました。

以上のように、両センターの日頃業務の運営と、それ等に伴う問題点等について活発な討論が行なわれ、相互に今後の健闘を祈って郡山センターを後にしました。

我々会員が今後一層、多様な潜在する能力を發揮して、迫り来る高齢化社会に対処し貢献されたいとする強い期待を感じつつ、駄文ながら県外視察交流研修参加の報告とさせて頂きます。

“猛暑に挑む就業会員” 激励訪問隨行記

安全就業推進員 設 楽 昭

兎に角暑かった今年の夏、梅雨は素通りして6月末にはすでに真夏日の到来。以後途中、中休み的に涼しい日が数日はあったものの殆んど連日、日中は30度を超える真夏日が9月中旬まで。25度を超える熱帯夜も8月末までほぼ連続。全国に151ヶ所ある気象台・測候所のうち、61ヶ所の気象台・測候所で開設以来の記録を更新したという。また40度を超える猛暑が3ヶ所で観測されたとも。その間、降雨量も地域によっては平年の10%前後に止まり、給水・取水制限など水攻めにあった地域も東北、北海道を除いてほぼ全国的。まさに猛暑攻め、水攻めに喘いだ今年の夏でした。

そんな今夏、当センター安全就業推進委員会では2回に亘って、会員の方々が就業される現場を巡回訪問、安全就業を確認すると共に、労をねぎらい激励されました。

私も、同委員会の推進員をお受けして未だ日も浅く、知識・経験共に乏しいので見聞を広めたく、委員の皆さんに随行いたしました。そして、多方面に亘って活躍される会員皆さんの真摯な姿に初めて接し、幾つもの深い感銘を受けました。

第1回目、7月25日の随行はあの酷暑の真只中、公共の広場にもかかわらず、心ない人々が捨て去った厖大なゴミを園内巡回集収し、ひたすら汗にまみれ、それぞれに分別。或る物はリサイクルに、その他のゴミは燃え盛る焼却炉に投入しての焼却と、5人の会員の方々が一体となってまさに共働・共助そのものの作業、又微風だなく、陽炎がユラユラと立ち昇る蒸し風呂同然の空地で、生い茂る雑草の除草作業、葉が力なく垂れ下る庭木を、流れ落ちる汗を拭うこともなく、一心に鉄を入れる剪定作業。不況だ、不景気だと言いながらも結構、やれ長期休暇だ、避暑海外旅行だと優雅に過ごす人も多い中、特別の休暇も避暑もなく、炎暑酷暑に挑み、作業に取り組む会員の方々のあの姿には、目頭の熱くなる思いでした。第2回目は、約1ヶ月後の8月22日。依然として炎暑の続く毎日。然し当日に限って前夜の一雨で一気に気温が10度も下り、9月中旬並と嘘のような気温。当然酷暑を覚悟して集まった委員の方々は、むしろ戦意を殺がれた様子。そんな予想外の陽気の中での訪問先は、契約に基づく室内作業が主体の現場。最初に伊勢丹所沢センター。同センターは伊勢丹デパートの売上げ全配送品を、国内各地に止まらず国外まで一括配送するという、1フロアー3,000坪、4階建ての広大なセンター。完全にシステム化された流れ作業の中で、大切な商品の包装・運搬という最終処理の気の抜けない作業。2番目の生協、北永井デリバリーセンターも扱い品目・内容は多少異なるものの、作業内容は概ね伊勢丹センター同様。ギラギラした炎天下での作業とは異なり、緊張の持続を要する気の抜けない流れ作業。一般社員に伍して甲斐甲斐しく作業に取り組んで居られた会員の方々、シルバー年齢など全く感じさせない若々しさが特に印象的でした。

高齢化社会への対応・対策が種々論議されているが、そんなものに一切頼ることなく自主・自立、そのすべてを自からの力で切り拓いて居られるのが、シルバー人材センターに属し日々就業されている会員の方々。あの灼熱の日々に耐え、今爽やかな秋を迎える感概一入と思います。

「人間苦に耐え抜くと、苦が喜びに変わる」。

この度の随行で特に感銘を深くしたのは「私達シルバーの会員は、福祉の受け手などではない。福祉の担い手だ」とするシルバー団体の高邁な理念の実態をそこに見たことでした。あの酷暑に耐え、爽秋の時を経、やがてまた酷寒の時期を迎えることとなります。今後共健康で、それぞれの場で安全就業に徹し怪我なく、永く社会の担い手であって欲しいと願わざには居られません。

◎ 皆さんの努力結果

月	会員数	受託件数	就業人員		契約金額		
			実人員	延人員	配分金	事務費	その他
7	784	122	379	6,050	24,251,877	1,435,217	463,350
8	784	145	367	5,574	22,101,437	1,360,995	537,713
9	790	117	363	5,397	20,915,389	1,287,809	727,713
合計				17,021	67,268,703	4,084,021	1,728,,776
							73,081,500

皆さんのご協力により、3ヶ月合計で前年同期より約540万円（8%）の増となりました。

=会員作品展の開催=

本年多数の会員皆さんから出品を頂き、好評を得ました作品展を、明年も下記により開催いたします。多数会員皆様の出品をお待ちいたします。



記

1. 日時：平成7年1月23日～24日午前9時～午後4時30分
2. 場所：旧市役所2階202会議室
3. 課題：絵、書、編み物、陶芸、七宝焼、その他手芸品等
4. 提出期限：平成7年1月13日（土）まで

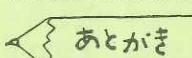
=婦人部主催安全衛生研修会の開催=

本年第2回目の安全衛生研修会を開催いたします。多数会員皆様のご参加をお願いいたします。

1. 日時：平成6年11月22日（火）午後1時30分より
2. 場所：センター第2おさらい教室
3. 講師：所沢市高齢者福祉課、保健婦小沢桂江先生
4. 内容：「知ってて得する易しい介助法」

=植木職を募集しております=

今、当センターでは植木の仕事をして頂ける方を募集しております。会員皆様のお近くの方で、植木の剪定に趣味を持っている方、又やってみたいと言って居られる方がいれば、経験がなくても結構です。是非紹介下さい。又、現在会員の方で、植木の仕事をしてみたいと思われる方も事務局へお申出下さい。



恨めしい程の長い酷暑に悩まされた今年の夏。「ご迷惑をおかけしました」の挨拶もなく“アッ”と言う間に去って行った。健康だからあの暑さに耐えられた。安全就業に徹し怪我なく、無理せず摂生に努めて病気に罹らないのが健康を保つ両輪。時候の流れは早い。紅葉と共にもうそこはかとなく冬の訪れが感ぜられるこの頃。色々あった今年。暗い梅雨が素通り、台風にも見舞われず多少は明るい印象の残る1年となりそう。会員の皆さんと役員、そして事務局職員のご尽力でセンターの業績も依然不況の続く中、小康を保てそうと聞く。シルバーだよりも本号が今年最終号。早い挨拶となります。日頃会員皆さんのご労苦とご協力に感謝申し上げ、年内残された1ヶ月余心身共に健康で、迫り来る寒さに耐え新しい年を迎えて頂きたいと思います。

次号は年明け3月中旬発行の予定です。50号となりますので記念号としたいと思います。一段のご協力、ご投稿をお願いします。締切り日は2月15日です。